

指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】 平成28年度

1 総則

指定管理者	公益財団法人 守口市文化振興事業団
事業期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日
管理体制	守口文化センター（以下「エナジー」と記載） 職員 4名 館長 (1名)(ムーブと兼務)【司書有資格者】 課長 (1名)【司書有資格者】 主任 (1名) 嘱託 (1名) 臨時 16名 受付 (9名) 図書 (7名)【内司書有資格者2名】 図書専門官 1名 (ムーブと兼務) 舞台技術管理常駐者 <外部委託> 1名 警備員 <外部委託> 3名 清掃 <外部委託> 4名 設備環境衛生管理技術者 <外部委託> 1名 電気主任 <外部委託> 1名
	守口市生涯学習情報センター（以下「ムーブ」と記載） 職員 6名 館長 (1名)(エナジーと兼務)【司書有資格者】 課長 (1名)【司書有資格者】 主任 (1名)【司書有資格者】 嘱託 (3名)【内司書有資格者2名】 臨時 10名 受付 (4名)【内1名枠外部委託】 図書 (6名)【内司書(補)有資格者6名】 図書専門官 1名 (エナジーと兼務) 舞台技術管理常駐者 <外部委託> 1名 警備員 <外部委託> 2名 清掃 <外部委託> 3名 設備環境衛生管理技術者 <外部委託> 1名 電気主任 <外部委託> 1名
職員の勤務状況	職員 ローテーションにより、2交代制で勤務 夜間においては、1名以上の職員を配置し、緊急時に対応 臨時 ローテーションによる勤務

守口市生涯学習情報センター

2 施設のサービス水準
 (1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	午前9時～午後9時 【図書フロア】 1) 平日(火～金曜日) 午前10時～午後8時 2) 土曜・日曜・祝日 午前10時～午後5時	条例・規則、協定書に基づき実施	条例・規則、協定書に基づき実施
	受付・案内	施設の管理運営に支障がないように配慮するとともに、利用者の要望に応えられる体制とする。	施設予約や図書の受付等に関する各種マニュアルに基づき、お客様の目線に立ったきめ細やかな対応を目指した。特に施設の顔である受付・案内業務の重要性に鑑み、市民に好感を持っていただける対応に留意した。	特に苦情等もなく、適切に対応できた。今後とも、きめ細やかな対応と好感を持っていただける親切な受付・案内業務を目指していきたい。
	料金設定	条例・規則により規定	条例・規則に基づき実施	条例・規則に基づき実施
	広報・宣伝	チラシ等を作成して近隣施設に配付し、利用の促進等宣伝活動を行うとともに類似公共施設のポスターの掲示PRの相互協力、ホームページの維持管理・作成業務等 管理運営業務仕様書に示された内容	ホームページや機関紙を活用し、各施設のイベント情報や利用案内等の情報発信に努めた。 ポスター、チラシ等を作成し、PRに努めた。また、八幡市、枚方市、門真市等の類似施設とも連携し、広報面での相互協力を図った。	適宜ホームページを更新するとともに、財団機関紙の「情SHOW気流」を4回季刊発行するなどして、PRと利用の推進を図った。 情報誌や各種チラシ等のアナログメディア、ホームページ等のデジタルメディア、情報提供コーナー等のスペースメディアを通じた広報活動を積極的に行い、生涯学習のPRと推進に努めた。
施設維持管理業務	清掃・保守 点検	「基本協定書(以下“協定書”と記載)及び「管理運営業務仕様書(以下“仕様書”と記載)に示された内容	仕様書に基づき実施。点検の結果、修繕を要するものは市と協議し、施設の適正な維持管理に努めた。	業務仕様書のとおり実施した。大規模改修を要するものは、市に報告し、適切な維持管理に努めた。
	修繕	協定書及び仕様書に示された内容	件数: 21件 金額: 3, 502千円	設備の老朽化が著しく、小規模な修繕では追いつかない状況になってきている。全体の建物検査が必要であり計画的な修繕の執行が緊急課題である。
	利用者数	仕様書に特に規定なし	施設利用計 97, 245人 イベントホール 27,423 人 グリーンルーム1 19,739 人 グリーンルーム2 18,979 人 研修室 10,596 人 会議室 2,756 人 プラネタリウムドーム 12,900 人 ギャラリー 4,852 人	平成27年度(90, 170人)より7. 8%(7, 075人)の増で、次年度以降も利用増に努めたい。
			図書フロア計 125, 674人 図書フロア 113,332 人 視聴覚コーナー 12,342 人	平成27年度(124, 984人)より0. 6%(690人)の微増で、次年度以降も利用増に努めたい。
	利用料金	収入目標 18,500千円	収入 11, 220千円	平成28年度の実績は、11, 220千円であった。目標を下回っているため、次年度は収入を増やすように努めたい。
	利用率	仕様書に特に規定なし	イベントホール 22.6 % グリーンルーム1 16.2 % グリーンルーム2 14.8 % 研修室 21.0 % 会議室 11.8 % プラネタリウムドーム 9.8 % ギャラリー 3.6 %	利用人数が減少していることもあり利用率においても減少が見られる。次年度は回復に努めたい。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
その他業務	職員研修	仕様書に基づき、各種研修の実施	業務を円滑に進めるための打合せ会、緊急時における対応のための消防訓練等の研修を行った。図書フロアにおいては、専門職の能力向上のため、大阪府公共図書館協会主催司書セミナーはじめ、障がい者サービス研修、協力貸出担当者研修、参考業務研修会等に参加し、研鑽を深めた。	適正な業務遂行のための各種研修を実施し、職員等のレベル向上に努めるとともに、毎日の朝礼、毎月の定例会議で日常の課題に対する情報共有および解決に努めることができた。
	個人情報保護	協定書及び仕様書に基づき、個人情報保護の適正な管理を行うために必要な措置を講じる。	個人情報に関わる書類・データの取扱いには、厳格に対処した。個人情報保護規定に基づき、書類の速やかな処分(データ入力後裁断処理)や個人情報が第三者に漏れる(個人情報の入ったUSBフラッシュメモリの持出し禁止等)ことのない措置を講じた。	個人情報の記載された書類・データの取扱いについては、特に注意(第三者に目に触れない措置等)して、業務を遂行するよう周知徹底した。
	情報公開	協定書及び仕様書に基づき、情報の公開について必要な措置を講じる。	開示請求はなかった。今後開示請求があった場合は、市と協議し、当事業団の「情報公開規定」に基づき対応。	開示請求は受けなかったが、日常の利用者への対応についても分かりやすく心がけるなど、開かれた施設運営を目指した。
	事故等への対応	適切な措置を講じ、委員会、関係機関に通報	幸い事故等は無かった。	幸い事故等は無かったが、万一の事態を想定し各自が緊張感を持って業務の遂行に努めたい。

事業達成度評価 コメント	事業達成度評価
運営業務については、協定事項等に基づき実施し、創意工夫を凝らした広報宣伝に努めた。 施設維持管理業務については、協定書・仕様書に基づき実施し、適正な維持管理に努めた。 施設利用許可業務のうち、利用料金収入については、目標値を下回ったため、次年度以降、増収に努めていきたい。 自主事業については、概ね計画通り遂行でき、生涯学習に関わる多種多様な事業を実施した。	<h1>A</h1>

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業・ムーブ	お花見歴史散歩	独自事業【ムーブ】	職員が市内の名所・旧跡を案内して約5キロを散策。桜を楽しみながら郷土史理解の一助となった。 ①開催日:平成28年4月1日(金) ②開催場所:難宗寺ほか市内名所13カ所 ③実施回数:1回 ④定員:20人 ⑤参加人数:12人 ⑥参加率:60.0 % ⑦その他 講師の手作り記念品(キーホルダー)やペットボトルを参加者に進呈。	ウォーキングを伴う事業なので健康増進の側面もあり、毎回ほぼ満員である。リピーターも多く、好評をいただいている。
	もりぐち市民大学講座2016(前・後期)	独自事業【ムーブ】	多様なジャンルの市民向け教養講座を全10回開催。 ①開催日:(前期)平成28年5月28日、6月4日、7月30日、8月27日、9月24日(各土)、10月13日(木)、11月11日(金)、12月3日(土)、1月28日(土)、2月18日(土) ②開催場所:3階研修室、1階エントランスホール等 ③実施回数:全10回 ④のべ定員:30人×5回×2期 ⑤のべ参加人数:250人 ⑥参加率:62.5% ⑦内訳:5月28日「現代南画の世界」52人、6月4日「食の安全」15人、7月30日「尺八の魅力」13人、8月27日「宇宙誕生の謎」18人、9月24日「室町文化」36人、10月13日「真田幸村」14人、11月11日「守口宿」20人、12月3日「ラジオパーソナリティ」33人、1月28日「ギタートーク」35人、2月18日「環境」15人	時期に適した題材(真田幸村)の講演、癒しのギター、ラジオパーソナリティの講演会などで多くの集客を得た。
	星空ウォッチング	独自事業【ムーブ】	市民一般に天文への興味付けを図るため、ムーブの開館以来継続している事業。 ①開催日:平成28年7月18日(月・祝) ②開催場所:大日公園 ③実施回数:1回 ④定員:80人 ⑤参加者数:33人	告知不足のため、参加者が定員より大きく割り込んだ。今後は周知活動の徹底を図る。
	プラネタリウム学習番組の投影	独自事業【ムーブ】	子供たちに科学への興味付けを図るため、期間を定めてプラネタリウム学習番組を投影。「月の動き」など。 ①開催日:平成28年5月24日(火)から7月15日(金)まで ②開催場所:プラネタリウムドーム ③実施回数:19回 ④のべ定員:150人×19回 ⑤のべ参加人数:2,683人 ⑥参加率:94.1% ⑦その他:職員が機器の操作、解説すべてを行なう。	平成19年のプラネタリウム休止後も財団の自主事業として毎年学習番組を投影している。学校・園から多くの投影依頼があり、プラネタリウムの有効活用を担っている。
	なつやすみファミリーフェスタ	独自事業【ムーブ】	夏休みに「スマートボールすくい」や「鮎掴み体験」「工作教室」など多様な三世交代流事業を実施。 ①開催日:平成28年7月23日(土)～7月24日(日) ②開催場所:1階エントランスホール/ムーブ池 ③内容及び参加者数: 7月23日～24日「スマートボールすくい」88人、 7月24日「かもめモバイルを造ろう」22人、 7月24日「鮎掴み体験」48人、「フラダンスショー」65人 ④総来場者数:223人	毎年夏休みに実施しているムーブ21の恒例事業で皆様に楽しんでいただけた。特に「鮎掴み体験」など毎年新しい内容を織り込み、飽きの来ないイベントの企画に心がけている。
	もりぐちeセミナー～女と男のエンパワメント講座	守口市との共催事業【ムーブ】	人権や女性問題をテーマにした連続講座を守口市、大阪国際大学との三者共催で実施。 ①開催日:平成28年10月6日、13日、20日、27日、11月10日【毎木】 ②開催場所:研修室 ③実施回数:5回 ④のべ定員:50人×5回 ⑤参加人数:236人 ⑥参加率:94.4% ⑦内訳:10月6日「不幸になるコミュニケーション」49人、10月13日「国際コミュニケーション」42人、10月20日「大切なコミュニケーション」48人、11月10日「落語から学ぶ」48人 ⑧その他:守口市との共催事業	ムーブ21開館以来、人権啓発セミナーとして市と共催で取り組んできた。今年は「コミュカ」が注目を集める中、コミュニケーションをテーマに多くの参加者を得て好評であった。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業・ムーブ	土曜ステージ	独自事業【ムーブ】	毎週土曜日、音楽や演芸等を学んでいる学習者に発表の場を提供している。ムーブ開館以来継続している事業。(無料事業) ①開催日:平成28年4月2日～平成29年3月25日 毎週土曜日(5週目はお休み) ②開催場所:エントランスホール ③実施回数:48回 ④総来場者数:2,846人	出演予約が予約解禁日に即日終了となる人気事業となった。公共施設で毎週行われるロビーコンサートは稀であり、アマチュアにとって貴重な研鑽の場であるとの評価もいただいた。
	エクセレントコンサート	独自事業【ムーブ】	ほぼ毎週日曜日、器楽、声楽を中心に若手アーティストに研鑽の場を提供している。(有料事業) ①開催日:平成28年4月3日～平成29年3月26日(日) ②開催場所:エントランスホール ③実施回数:56回 ④総来場者数:3,428人	500円～1,000円で質の高い演奏が聴けるとの評価をいただいている。リピーターも多く、毎週日曜(実施日)が楽しみとの声も多い。出演者の多くは音楽系大学の学生が卒業生でクラシックが中心。
	第9回大日寄席	独自事業【ムーブ】	平成19年よりムーブの活性化のため実施している事業で若手落語家の研鑽の場でもある。落語以外にパペット落語や曲芸、三味線講談など色ものも取り入れた異色の寄席である。 ①開催日:平成28年5月29日(土) ②開催場所:イベントホール ③出演者:柳家さん喬、露の都、桂あやめ、桂三扇、露の眞 ④定員:209人 ⑤参加者数:124人 ⑥参加率:59.3%	露の都、桂あやめや上方笑女隊の面々が集まり、多くの参加者を得た。今後も集客が図れる出演者の人選に努める。
	新春を彩る箏の調べ	独自事業【ムーブ】	伝統芸能の振興と若手演奏者の研鑽を図るため邦楽コンサートを開催。 ①開催日:平成29年1月8日(日) ②開催場所:4階イベントホール ③定員209人 ④参加者数:158人 ⑤参加率:75.6% ⑥その他:来館者に和菓子付抹茶サービスを行った。職員がすべて準備し運営している。	地元の著名な邦楽演奏家がチケット売り捌きの協力をしてくれるため、毎回ほぼ満員である。
	プラネタリウム怪談ナイト	共催事業【ムーブ】	平成17年よりムーブの活性化と若者をターゲットに実施している季節に因んだ事業。年1回実施。 ①開催日:平成28年8月7日(日) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③出演者:中山市朗(作家・怪異蒐集家) ④定員:100人 ⑤参加者数:76人 ⑥参加率:76.0%	夏の講演会事業として定着している。お客様が多方面から来られるためネットワークプレイガイド(ローソンチケット)の売り捌きが一番よい事業でもある。
	サイレント映画 弁士付で上映	独自事業【ムーブ】	プラネタリウムの有効活用と映像文化を学ぶアーティストに発表の場を提供した。 ①開催日:平成28年4月16日(土) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③出演者:深海無声団 ④上映映画:4月16日「戦艦ポチョムキン」 ⑤定員:100人 ⑥参加者数:48人 ⑥参加率:48.0%	弁士付き上映会は他では見られない事業でもあり、一定の評価をいただいている。
	デジタルで蘇る名作映画上映会	共催事業【ムーブ】	「真昼の決闘」など外国の名作映画を上映した。 ①開催日:平成28年5月27日、7月29日、9月30日、11月25日、1月27日、2月24日、3月31日各(金) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③実施回数:7回 ④延べ来場者数:286人 ⑤延べ定員:560人 ⑥参加率:51.1%	「真昼の決闘」「アフリカの女王」「旅愁」など永遠の名作を上映し往年の名作を再び大スクリーンで観覧できたことが好評であった。
	優秀映画鑑賞推進事業	共催事業【ムーブ】	「忍ぶ川」など日本の名作映画を文部科学省と共催して開催した。 ①開催日:平成28年11月26日(土)、27日(日) ②開催場所:イベントホール ③実施回数:1日4回上映 ④延べ来場者数:108人 ⑤延べ定員:80人×4回 ⑥参加率:27.0%	文部科学省所管の東京国立近代美術館が所蔵する、なかなか見ることのできない映画作品を市民等に公開上映できた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業・ムーブ	熟睡プラ寝たリウム	主催事業 【ムーブ】	星空を眺めながら安眠できるひと時を提供した。 ①開催日:平成28年4月29日(金)、10月22日(土) 平成29年3月4日(土) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③実施回数:3回 ④参加者数:174人 ⑤定員:240人 ⑥参加率:72.5%	ストレスの多い時代に癒しを求める方々にひと時のリラックスタイムを提供でき、有意義な事業であった。
	レセプションист養成講座	主催事業 【ムーブ】	各種事業の実施に不可欠なスタッフ「レセプションист」の養成。 これまで体系的な養成をされることが少なかったが、当館のレセプションист養成の意味もあり実施。 ①開催日:平成28年11月5日(日)、12日(土)、13日(日) ②開催場所:エントランスホール ③実施回数:3回 ④参加者数:8人 ⑤定員:20人 ⑥参加率:40.0%	参加者は少なかったが関心ある参加者により有意義な講座が実施された。
	市民サークル個展市	独自事業 【ムーブ】	市民等に手作り作品等の展示即売の場を提供。 ①開催日:平成28年7月18日(月・祝) ②開催場所:エントランスホール ③実施回数:1回 ④出店数:8店 ⑤定数:20店 ⑥参加率:40.0%	「手作り手芸品」等市内の個人等に参加をいただき好評を得た。今後も継続していきたい。
	コイン式インターネット	独自事業 【ムーブ】	ネット検索、メール、ブログ更新等に利用できるインターネットブースを設置している。100円で15分利用可能。携帯の充電もできる。 年間利用者数:1,246人	撤去した1階公衆電話の跡スペースを有効活用して情報センターにふさわしいネット環境を市民に提供している。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 (図書事業) ・ムープ	【子どもの読書支援事業】 おはなし会	独自事業 【ムープ】	職員・おはなしボランティアグループで、絵本の読み聞かせ・紙芝居・エプロンシアター・パネルシアター・手遊び等を実施した。話し手と距離が近いので臨場感が生まれ、毎回好評を博している。 ①開催日:毎月第1・3土曜日 ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:23回 ④定員:自由参加のため、カウント対象外 ⑤参加人数:1,356名 ⑥参加率:自由参加のため、カウント対象外 ⑦その他 対象:乳幼児から小学校低学年まで。	「子どもの読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 毎回、多くの親子で賑わい、子ども達が身をのりだしておはなしを楽しむ姿を見ると、今後もずっと継続すべき事業と考えている。最近では、父親と子どものペアの参加者も多くなり、育児に関心が高い父親が増加していることを実感する。本事業は、子ども向けイベント事業の中核となるもので、例年多くの参加者がある。館内での開催にとどまらず、ボランティアの協力を得て、文化センターや学校園等にも出かけ、事業の拡充に努めている。
	【子どもの読書支援事業】 出前事業 (出前講座& 出前おはなし会)	独自事業 【ムープ】	図書スタッフが、市内幼稚園・小学校・中学校等に出向き、図書フロアの利用方法など図書館関連の講座を実施する「出前講座」や、絵本の読み聞かせ等を実施する「出前おはなし会」を開催した。 ①開催期間:通年 ②開催場所:市内幼稚園・小学校・中学校 支援学校・高齢者施設 等 ③実施回数:6回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:233名 ⑥参加率:カウント対象外	「子どもの読書支援事業」の一つとして、平成18年以来継続して実施している事業。 出前講座は、学校現場の他、高齢者施設に出向き職員を対象に「読み聞かせ研修会」を実施した。また、「出前おはなし会」は、幼稚園や学校現場以外に、高齢者施設から依頼されることも増加した。今後も継続して実施し、図書と市民を結びつけていきたい。
	【子どもの読書支援事業】 読書推進展示	独自事業 【ムープ】	「月毎のテーマ展」や「社会のトピックス関連の図書」等を展示し、さまざまな図書を紹介、子ども達の読書活動の推進を図る。 ①開催期間:通年 ②開催場所:図書フロア展示コーナー ③実施回数:12回(展示期間:1回につき1ヶ月間) ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 展示冊数:4,560冊・貸出冊数4,492冊 *内訳 毎月テーマ展:3,951冊 新聞・雑誌の書評展:188冊 青少年本(YA本)展示:233冊 守口ゆかりの作家展:120冊 しかけ絵本展:68冊	「子どもの読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 所蔵本を、さまざまな角度から利用者に紹介することにより、新たな分野への読書を誘う。自分たちが選定し、展示した本を利用者が手に取り、真剣にご覧になっている姿を見ると、とても嬉しく勇気づけられる。今年度は館内イベント関連の展示コーナーを新設、イベント開催前から開催後1週間まで展示を行った。これにより館内貸出が倍増し、館外貸出も増加した。
	【子どもの読書支援事業】 子ども読書の日記念① 春のおたのしみ会 ★ビックブックの紹介 & 子どもDVD上映会★	独自事業 【ムープ】	「子ども読書の日」を記念し、普段、公開していないビックブック絵本(大型絵本)とビック紙芝居(大型紙芝居)の紹介と読み聞かせを実施。また、所蔵の子ども向けDVDの上映会を実施した。 ①開催日:平成28年4月16日(土) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:自由参加のため、カウント対象外 ⑤参加人数:40名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 対象:乳幼児から小学校低学年まで。	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 普段、公開していないビックブック絵本とビック紙芝居を子ども達に紹介し、読み聞かせを行った。通常の絵本の3倍以上の大きさの資料を見て、子ども達は驚き、興味津々。また、読み聞かせがはじまると興奮して、声を上げる子もいた。終了後もビックブックは子どもたちの取り合いで、とても賑やかなイベントになった。
	【子どもの読書支援事業】 子ども読書の日記念② 「司書がススめる この一冊」展示	独自事業 【ムープ】	図書フロアで働く司書10名が各々推薦する一般図書・児童図書 計90冊を展示・貸出を実施。 ①開催期間:平成28年4月23日(土)~5月15日(日) ②開催場所:図書フロア展示コーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 所蔵本の中から、司書が子ども達に推薦する一般図書・児童図書を展示・貸出を行ったが、昨年同様、自分が推薦した本を熱心に読む子ども達の姿に司書一同胸が熱くなった。わざわざ感想を伝えてくれる子ども達や親御さんもいて感動した。子どもの読書推進に寄与できるようこれからも継続実施していきたい。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 (図書事業)・ムーブ	【子どもの読書支援事業】 おはなし読み聞かせ ボランティア養成講座	独自事業 【ムーブ】	子どもの読書活動推進に寄与するため、読み聞かせボランティアを養成した。 ①開催日:平成28年6月11・18日(各土) ②開催場所:ワークルーム ③実施回数:2回 ④定員:20名 ⑤参加人数:20名 ⑥参加率:100.0%	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 子ども達に読み聞かせを行いたい、現在、読み聞かせボランティア活動を行っているも、もっとスキルアップしたいと願う人が多く集まった。修了生は、いずれも各おはなしグループに入り、活動を開始している。
	【子どもの読書支援事業】 YA(ヤングアダルト)コーナー への新書本配置	独自事業 【ムーブ】	読書離れが進むYA世代の読書活動の推進を図るため、司書が選んだYA向きの本375冊を展示した。 ①開催期間:平成28年6月21日(火)~30日(木) ②開催場所:図書フロアYAコーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 他の世代に比べ特に読書離れが激しいYA世代に対し、それぞれの司書達が「ぜひ読んでほしい」新書本を選び展示・貸出を実施した事業。これからもさまざまな工夫をしながら、少しでもYA世代が読書を楽しめるよう実施していきたい。
	【子どもの読書支援事業】 夏のおたのしみ会 ☆歯医者さんの おはなしと紙芝居☆	独自事業 【ムーブ】	夏休みを前に、子どもの読書活動の推進と歯の健康の大切さを学ぶため、歯科医師会の協力で、歯医者さんによるおはなしと絵本の読み聞かせ、紙芝居の公演を実施。 ①開催日:平成28年7月16日(土) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:68名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 講師:守口市歯科医師会 山本歯科医院スタッフ& ボランティアサークルくすの木 混成チーム	「子どもの読書支援事業」の一つとして、今期初めて実施した。 子ども達は、普段こわ〜いイメージの歯医者さんと衛生士さんたちが語る楽しいおはなしと、紙芝居に夢中になり、身を乗り出して聞き入っていた。また、子ども達がお話しを通して、きちんと歯磨きをする大切さを学んでいる様子が伺えた。最後に、歯医者さんからプレゼントがあり、子どもたちは大喜び。歯医者さんはじめ図書スタッフがもみくちゃになるほどであった。
	【子どもの読書支援事業】 夏休み子どもDVD上映会 (街頭紙芝居の講師 急病のため急遽、 臨時開催)	独自事業 【ムーブ】	街頭紙芝居の公演を開催予定であったが、当日、講師が急病のため、急遽、子ども向けDVDの上映会を実施。 ①開催日:平成28年8月28日(日) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:自由参加のため、カウント対象外 ⑤参加人数:31人 ⑥参加率:自由参加のため、カウント対象外	「子どもの読書支援事業」の一つとして、平成20年以来継続して実施している街頭紙芝居の公演を開催予定であったが、事業当日に講師が急病のため、急遽所蔵する子ども向けDVD上映会を実施し、振替開催を行った。 子ども向けDVD上映会は、子ども達にとって楽しい事業のひとつであり、作品を見ながら、そばにいる祖父母、父母たちに話しかけている姿が見られた。
	【子どもの読書支援事業】 秋の読書週間記念事業 ぬいぐるみお泊まり会	独自事業 【ムーブ】	秋の読書週間を記念し、幼時から図書館に親んでもらい、本との触れ合いを深めるため実施した幼時向きの読書支援事業。 ①開催期間:平成28年10月29日(土)~30日(日) ②開催場所:図書フロア ③実施回数:1回 ④定員:6名 ⑤参加人数:9名 ⑥参加率:128.6%	本事業は、もともと米国の公共図書館が、読書離れが進む子ども達の図書館利用を促進するため取り組んだ事業。「子どもの読書支援事業」の一つとして、昨年度初めて市内で実施した事業であった。非常に好評で、参加者から継続実施を望む声が多く、今年度も実施した。子ども達が大切にしている「ぬいぐるみ」を図書フロアで一晩預かり、そのぬいぐるみ達が、閉室後の図書フロアで絵本の読み聞かせや、本の整理、カウンター業務を体験している姿を写真撮影し、翌日お迎えに来た子ども達にプレゼントする。ぬいぐるみが楽しく図書フロアで働く姿を見て、子ども達に図書館への興味を持ってもらうことが本事業の狙いである。リピーターの参加が多く、今後も続けてほしいとの声が、多数寄せられた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 (図書事業)・ムーブ	【子どもの読書支援事業】 絵本作家 長野ヒデ子氏 講演会&ワークショップ	生涯学習課 との 協力事業 【ムーブ】	4月23日(子ども読書の日)を記念し、絵本作家 長野ヒデ子氏の講演会とワークショップを実施。 ①開催日:平成29年3月25日(土) ②開催場所:イベントホール ③実施回数:1回 ④定員:80名 ⑤参加人数:42名 ⑥参加率:52.5% ⑦その他 生涯学習課との協力事業	「子どもの読書支援事業」の一つとして、生涯学習課との 協力事業として実施した。 前半は、絵本作家の長野ヒデ子氏の講演会。後半は ワークショップを実施し、講師自ら絵本の読み聞かせを 行い、また、参加した親子と読み聞かせの実習を行った。
	【ブックスタート支援事業】 ①冊子「絵本の読み聞かせ Q&A」 ②冊子「ムーブ21 おススメ 赤ちゃんに贈る はじめての絵本」 の発行	独自事業 【ムーブ】	1、冊子「絵本の読み聞かせQ&A」の発行 プレママ・プレパパにおくる絵本の選び方と 読み聞かせ方法のポイント・注意点等を 紹介。 2、冊子「ムーブ21 おススメ 赤ちゃんに贈る はじめての絵本」の発行 所蔵絵本の中から司書が推薦する絵本を ピックアップ紹介。 ①配布期間:通年 ②配布場所:ムーブ図書カウンター 文化センター 子育て支援センター 市民保健センター ③発行部数:660部	「ブックスタート支援事業」として実施した。 司書への読書相談の中で、「子ども達にどのような本を 読んでいいかわからない」、「読み聞かせ方法を知りたい 」といった質問が多く寄せられ、真剣に悩まれている親 御さんが多いことに気づき実施した。悩めるママ・パ パ達の問題解決を図り、親子で読書を楽しんでいただけ るようこれからも継続していきたい。
	【図書館教育支援事業】 保育所、幼稚園、小・中・高・ 支援学校、高齢者施設、 各種団体による 図書フロア見学	独自事業 【ムーブ】	市内の保育所、幼稚園、小・中・高・支援学校老 人施設、各種団体が図書フロア見学し、図書フロ アの利用方法を学ぶ。司書が「図書フロ アのしくみ」講座を行なった後、図書フロア見学を 開始する。また、通常は貸出対象外である「しか け絵本」の紹介やブックトーク等も実施した。 見学の最後には必ず質問コーナーを設け、参加 者からの質問に司書が回答した。 ①実施期間:通年 ②実施場所:1F視聴覚コーナー、対面朗読室 点字図書コーナー 2F図書フロア ③実施回数:12回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:660名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。 毎年、多くの幼稚園・保育所・学校等が図書フロア見学 に来て下さるが、今期は前年度につづき、高齢者施設に 入所されている方々の見学が多かった。高齢者に対 しては、見やすい大型紙芝居・大型絵本の読み聞かせや、大 活字本の紹介などを実施した。車いすの参加者が多く、 館内のバリアフリー化は非常に喜んでいただいた。「普 段、あまり本を読まないけれど、図書フロアは楽しくて気 持ちはいいし、大きな文字の本がたくさんあってうれしい」 等、司書にいろいろ話しかけて下さり、感想を話して下 さった。これからも長く継続していきたい事業である。
	【図書館教育支援事業】 小・中学生の 職場体験学習受入	独自事業 【ムーブ】	図書館業務の体験を通して、子ども達に働くこと の意味や図書館の仕事の流れを学ぶことによ り、仕事と図書館に関心を持ってもらうため実施 した。 ①実施期間:通年 ②実施場所:図書フロア ③実施回数:13回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:9校 26名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。 毎年、多くの小・中学生の職場体験学習生として受入 れている。本が好きで図書フロアで働いてみたいという意 思をもって受講する児童・学生がほとんどであるが、2日 間の司書体験を通じて想像以上に体力・忍耐力の必要 性に驚く様子が見受けられた。この職場体験に参加した 子ども達は、その後もずっと図書フロアを利用されるケ ースが多い。現在も、すでに成人になった元受講生が多く 利用されている。これからも長く継続していきたい事業で ある。
	【図書館教育支援事業】 学校図書館主催者教諭 との研修会	教育委員会 との 協力事業 【ムーブ】	市内小・中学校の学校図書館室担当教員との 研修会を実施。団体貸出のしくみ、出前事業・図 書フロア見学、職場体験学習の受入等を紹介 し、図書フロアのさまざまな利用方法を説明。意 見交換会を通じて、学校図書館とムーブの連携 を図る。 ①開催日:平成28年6月21日(火) ②開催場所:研修室 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:31名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 教育センター・教育委員会との協力事業。	「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。 昨今、図書館と学校との連携が注目をされているが ムーブでは平成10年度以来、教育センターと共催で ムーブの司書と学校図書館室担当教員との合同研修会を 実施してきた。さらに、子ども達の読書活動推進のため の取り組みを行うため、ムーブ主催の出前事業や団体貸 出制度を紹介し、学校との連携強化にも努めている。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業(図書事業)・ムーブ	【図書館教育支援事業】 子ども1日 図書館サポーター体験講座	独自事業 【ムーブ】	子ども達が、司書から「本や図書館の歴史」「図書フロアの仕組み・有意義な利用方法」等を学習した後、実際に図書カウンターで司書業務を体験。体験を通して、子ども達が本や図書フロアに親しみ、読書活動の推進が図られるよう実施。また、生涯にわたり図書フロアを利用し、「図書館サポーター」として、他の人達にも「読書のおもしろさ」等を伝えてもらうことが出来るよう実施。 ①開催日:平成28年8月7日(日) ②開催場所:図書フロア ③実施回数:1回 ④定員:10名 ⑤参加人数:11名 ⑥参加率:110%	「図書館教育支援事業」の一つとして、平成7年度以来継続して実施している事業。 業務体験中に、子ども達が積極的に配架や書架の整理などを行い、また、来館した自分たちより年下の子ども達に本の読み聞かせをしたり、きちんと書架に本を戻すよう指導している姿に感動した。
	【図書館教育支援事業】 夏休み学習何でも相談 (調べ学習の支援)	独自事業 【ムーブ】	子ども達が、日頃抱いている疑問や質問等を司書が図書資料を介して助言を行い、子ども自らで解決するよう導く。 ①実施期間:夏休み期間中 ②実施場所:参考資料室 ③実施回数:89回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:95名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書館教育支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 子ども達が司書の支援で、資料を使って問題解決を行なっていく。子ども達にとっても「調べ学習」の大変貴重な体験をすることになる。疑問が解決したときの子ども達の笑顔がとても素晴らしい。
	【図書館教育支援事業】 図書館ボランティア養成講座 ～大人の司書体験 (18歳以上対象)～	独自事業 【ムーブ】	市民が作る市民の図書フロアをめざし実施。司書が、図書フロアの選書方法・購入方法・整理方法、その他さまざまな業務などを紹介する。また、有意義な利用方法等を紹介しその後、カウンターで実際の図書業務を体験。 ①開催日:平成29年2月4・18日(各土) ②開催場所:ワークルーム、図書フロア 図書整理作業室、閉架書架 ③実施回数:2回 ④定員:20名 ⑤参加人数:14名 ⑥参加率:70.0%	「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。 本講座は、学校図書館ボランティアのメンバーや「子ども1日図書館サポーター体験講座」に参加した子ども達のご両親からリクエストがあり実施した講座である。参加者からは「これまで知らなかった図書館のしくみを知り、司書さんたちの仕事内容もわかり、とても楽しかった」と感想をいただいた。また、「年1回必ず毎年この講座を開講してほしい」とリクエストされた。
	【図書館教育支援事業】 図書館司書をめざす 大学生との座談会	独自事業 【ムーブ】	近畿大学との協力事業。将来、司書をめざす大学生たちと、図書フロアで働く現役司書達との座談会を実施。学生たちに司書業務を紹介し、社会教育施設で働く司書として市民に対してどのようなサービスを提供しているのかを紹介し、学生達の将来の職業選択の一助となるよう実施。 ①実施期間:平成29年2月25日(土) ②実施場所:図書フロア ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:3名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。 将来、司書をめざす大学生は、司書資格の取得のため、大学図書館で、カリキュラムを履修し実習を行ったメンバーばかりであった。図書フロアが守口市の中央図書館的な役割を担っており、生涯学習の基幹施設として位置づけられ、多様な読書推進活動を展開し、市民の生涯にわたる学習を支援している施設であることを、座談会を通じて学んでもらったことは、非常に有意義であった。
	【障がい者の読書支援事業】 音訳図書の作成	独自事業 【ムーブ】	視覚障がい者の生涯学習活動を支援するため、障がい者が利用する音訳図書を自主製作。 ①実施期間:通年 ②実施場所:ワークルーム ③実施回数:19回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:180名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦製作数 総計76点 (CD版:14点 CT版:16点 DAISY版:46点)	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、平成12年度以来、継続して実施している事業。 財団が主催する「音訳ボランティア養成講座」の卒業生達がボランティアグループを結成し、職員と共に、音訳図書を作成、視覚障がい者に提供している。 *毎月、視覚障がい者に郵送貸出を行っている。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 (図書事業) ・ムーブ	【障がい者の読書支援事業】 点訳図書の作成	独自事業 【ムーブ】	視覚障がい者の生涯学習活動を支援するため、障がい者が利用する点訳図書を自主製作。 ①実施期間:通年 ②実施場所:ワークルーム ③実施回数:12回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:139名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦製作数:24冊	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 職員と点訳ボランティアグループのメンバーが所蔵本を点訳し、視覚障がい者に提供している。
	【障がい者の読書支援事業】 対面朗読の実施	独自事業 【ムーブ】	視覚障がい者の生涯学習活動を支援するため、職員・音訳ボランティアが、2時間1コマ単位で所蔵資料やリクエスト資料を朗読。 ①実施期間:通年 ②実施場所:対面朗読室 ③実施回数:6回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:18名 ⑥参加率:カウント対象外	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 職員と音訳ボランティアグループのメンバーが所蔵本やリクエスト資料を朗読し、視覚障がい者の生涯学習活動を支援している。
	【障がい者の読書支援事業】 大活字本の収集	独自事業 【ムーブ】	標準文字では、読書が困難な視覚障がい者(主として弱視者)の生涯学習活動を支援するため、大活字本を収集。 ①実施期間:通年 ②実績:平成28年度末現在の蔵書数:910冊	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 視覚障がい者の中でも、最近では、交通事故や疾病等で弱視者の割合が増加しており、この事業については、これからも継続していく必要性が高い。
	【障がい者の読書支援事業】 フレクストーク・拡大読書機 講習会	独自事業 【ムーブ】	標準文字では読書が困難な視覚障がい者(主として弱視者)や、高齢化が進み、指先の感覚が鈍り、これまで用いていた点字が判読困難となった全盲者が増加しているため、フレクストーク(DAISY図書判読機)の操作講習や、拡大読書機の操作講習会を実施。 ①開催日:平成28年8月26日(金) ②開催場所:図書フロア・ワークルーム ③実施回数:1回 ④定員:5名 ⑤参加人数:5名 ⑥参加率:100%	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、一昨年度からの継続事業である。 視覚障がい者も高齢化が進み、指先の感覚の鈍化のため点字図書を読めなくなってきた人が増加している。DAISY図書への変換が進んでいるところから講座を開催し、視覚障がい者の生涯学習活動の支援を図った。参加者にとっても好評であった。
	【障がい者の読書支援事業】 たのしい手話1日講座	独自事業 【ムーブ】	聴覚障がい者の図書フロア利用のバリアフリー化を促進し、また、聴覚障がい者にさまざまな支援ができる人材を養成。講師は、当事業団の職員(手話通訳士の資格をもつ司書)が務め、手話経験がない人を対象に実施。 聴覚障がい者と健常者が共に学び、共に学習活動を促進できるよう開講した。 ①開催日:平成28年12月11日(日) ②開催場所:ワークルーム ③実施回数:1回 ④定員:6名 ⑤参加人数:12名 ⑥参加率:200%	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、平成24年度以来、継続して実施している事業。 聴覚障がい者は、一見図書フロア利用に不自由さは無いと誤解されているが、利用者カードの登録時に十分に説明を聞き取れず、また、読書相談・調査相談の際にも意思が伝えられなかったりするケースが多い。聴覚障がい者の不自由さを少しでも解消し、利用のバリアフリー化を目指し実施した。参加者は、親子連れが多く、聴覚障がい者の不自由さを初めて知ったという人が多かった。障がい者への理解を進め、障がい者と健常者が共に支えあうという大切さを学ぶ場となった。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 (図書事業) ・ムープ	【読書と作品製作事業】 図書資料を利用した 「作品展示」& 関連本展示・貸出	独自事業 【ムープ】	「読書から生まれる作品づくり」の第1回目の事業として、所蔵本を参考にして製作された作品を図書フロアに展示し、利用者に紹介。また、関連本を展示・貸出し、市民の生涯学習活動及び図書資料の利用促進を図るため実施した。 ①開催期間:平成28年9月1日(木)～24日(土) ②開催場所:図書フロア展示コーナー ③実施回数:1回(期間中継続) ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 所蔵資料を利用して製作した「編みぐるみ」11点の展示、及び関連本展示・貸出:98冊	「読書と作品製作事業」の一つとして実施した。 利用者からのリクエストで実施した事業。作品の展示・紹介を行なうことにより、作品を見た方々から多くの感想が寄せられた。「私もこれを作ってみたい」と話す人が多く、多くの関連本が貸出されて好評であった。
	【読書と作品製作事業】 たのしい手芸1日講座	独自事業 【ムープ】	「読書から生まれる作品づくり」の第2回目の事業として、所蔵本を参考にして、クリスマスプレゼント用の作品を製作する1日講座。市民の生涯学習活動、及び図書資料の利用促進を図るため実施。 ①開催日:平成28年11月6日(日) ②開催場所:ワークルーム ③実施回数:1回 ④定員:6名 ⑤参加人数:11名 ⑥参加率:183.3% ⑦その他 マフラー、ミトン、ブローチ等を製作する1日講座。関連本の展示・貸出も実施。	「読書と作品製作事業」の一つとして、平成21年以来、継続して実施している事業。 親子で参加された方が多く、所蔵資料を参考に、講師の指導の下、お揃いのマフラーなどを作成しておられた。参加者は、全員作品作りに成功し、とても喜ばれており関連本も全て貸出済となった。
	【読書と作品製作事業】 たのしい手芸講座	独自事業 【ムープ】	「読書から生まれる作品づくり」の第3回目の事業として、所蔵本を参考にして、さまざまな作品を製作する講座。市民の生涯学習活動及び図書資料の利用促進を図るため実施。 ①開催日:平成29年1月14・21・28日(各土) ②開催場所:ワークルーム ③実施回数:3回 ④定員:18名 ⑤参加人数:11名 ⑥参加率:73.3% ⑦その他 バレンタインデーのプレゼントとして、マフラー・帽子・ハンドウォーマ他、大人の雑貨などを製作した。	「読書と作品製作事業」の一つとして、平成21年以来、継続して実施している事業。 バレンタインデー向けの作品製作を実施。所蔵資料を参考に、講師の指導の下、次々と作品が出来上がり、参加者全員が作品作りに成功し、大変満足されておられた。とても親切でわかりやすい指導であったと参加者から好評をいただいた。また、関連本も全て貸出済となった。
	【環境学習支援事業】 環境カレッジ春プログラム 環境問題啓発図書展示	独自事業 【ムープ】	「地球を守るため、自分たちで何ができるか」をテーマに、親子で楽しみながら環境の諸問題を学び、エコライフを実践できるよう、年間を通じ開催する「環境カレッジ」の第1回目の事業。災害・地球温暖化問題等さまざまな環境問題に関する資料の展示・貸出を実施、読書を通じ地球環境を守る大切さを学習していただくよう実施。 ①開催期間:平成28年4月1日(金)～6月26日(日) ②開催場所:図書フロア 展示コーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数:188冊	「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年以来、継続して実施している事業。 昨今、各地で地震・暴風雨による土砂崩れ等さまざまな自然災害が起こり、利用者の関心も非常に高い。 また、学校や職場単位での貸出依頼も多く、非常に多くの方に利用された。
	【環境学習支援事業】 環境カレッジ夏プログラム 環境問題ワークショップ	独自事業 【ムープ】	「環境カレッジ」の第2回目の事業。環境問題への導入学習として、「親子対象ワークショップ」と「子ども環境DVD上映会」を実施。 ①開催日:平成28年8月20日(土) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:10名 ⑤参加人数:17名 ⑥参加率:170%	「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年度以来、継続して実施している事業。 一見、難しくとらえがちな環境問題でも、クイズ形式で進行していくワークショップならば、親子で楽しみながら学習できるため、参加者からは好評を得ることができた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 (図書事業)・ムーブ	【環境学習支援事業】 環境カレッジ秋プログラム 本と雑誌のリサイクル市	独自事業 【ムーブ】	「環境カレッジ」の第3回目の事業。今回のテーマは「リサイクル」図書フロアで不用になった図書や雑誌を、市民に無償譲渡(1人あたり上限10冊)し、資源の有効活用と読書活動の促進を図るため実施。 ①開催日:平成28年9月25日(日) ②開催場所:ギャラリー・エントランスホール ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:596名 ⑥参加率:カウント対象外	「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年度以来、継続して実施している事業。 開場時間前から200名を超える市民が並び、非常に好評を得た事業であった。また、市民からも毎年開催してほしい、もっと開催回数を増やしてほしいとの要望が多数寄せられた。持ち帰り袋を有償化し、収入はすべて熊本県地震義援金に寄付した。
	【環境学習支援事業】 環境カレッジ冬プログラム 月周回衛星かぐや& 子供向け環境DVD上映会	独自事業 【ムーブ】	「環境カレッジ」の第4回目の事業。テーマは「宇宙からみた地球」1年を通じて行ってきた環境カレッジの最終回。宇宙からみた地球。このすばらしい星を守るため、人類が何をすべきか、あるいは、何をすべきかを学習する。あえて、クリスマスイブに開催し、地球環境について家族で考えてもらうよう企画した。JAXAの協力の下、「月周回衛星 かぐや」のDVD上映と解説。その後、子ども向け「環境DVD」を上映し、最後に、電子紙芝居(自主制作)を実施。 ①開催日:平成28年12月24日(土) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:自由参加のためカウント対象外 ⑤参加人数:25名 ⑥参加率:自由参加のためカウント対象外	「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年以来、継続して実施している事業。 1年間の活動を通じて、子ども達が多く参加し、今回も親子での参加が目立った。親子一緒に環境の大切さを学び、生活の中で、すぐに実践できることを伝えることができたのではないかとと思う。あえて、クリスマスイブに企画し、家族全員で、未来の地球のため、環境問題を考えていただくよう開催した。今後も継続していきたい事業である。
	【高齢者の図書館 利用促進事業】 敬老の日記念DVD落語会	独自事業 【ムーブ】	所蔵DVDの中から、特に人気がある「桂米朝・桂枝雀」の落語からそれぞれ2題を選んで、上映。とかく、自宅に引きこもりがちな高齢者の方々に、遠方に出かける必要もなく、自宅近くにあるムーブ図書フロアで、落語を楽しんでいただき、参加者同士の交流や資料の利用促進を図るため実施。 ①開催日時:平成28年9月19日(月/祝) ②開催場所:閲覧室 ③実施回数:1回 ④定員:32名 ⑤参加人数:26名 ⑥参加率:81.3%	「高齢者の図書館利用促進事業」の一つとして、平成16年以来、継続して実施している事業。 毎回、参加されるリピータも多く、高齢者だけでなく若い世代の参加者も多い。休憩時間には、世代間の交流が見受けられた。参加者からのリクエストも多く、とても好評を得ている事業である。
	【高齢者の図書館 利用促進事業】 敬老の日記念 「拡大読書機講習会& 大活字本・ カセットブック ワークショップ」	独自事業 【ムーブ】	高齢化のため、標準大の文字が読みづらくなり、読書から遠ざかる方が多いことから、参考資料室にある「拡大読書機」を使いこれまで同様、読書を楽しんでいただけるよう講習会を開催した。また、所蔵している「大活字本」や、耳から聞く「イヤーズブック」を紹介し、その利用方法を具体的に紹介し、参加者に体験していただくワークショップを実施。とかく読書から離れがちな高齢者に新たな読書方法と、新たな形態の資料を紹介することにより、高齢者の読書活動の推進と、資料の利用促進を図るため実施。 ①開催日:平成28年9月19日(月・祝) ②開催場所:参考資料室 ③実施回数:1回 ④定員:6名 ⑤参加人数:6名 ⑥参加率:100.0%	「高齢者の図書館利用促進事業」の一つとして実施している事業。 拡大読書機を使った新たな読書方法を高齢者に紹介した。同時に、大活字本やイヤーズブックも紹介し、高齢者の読書活動の推進を図った。
	【高齢者の図書館 利用促進事業】 新春出前DVD落語会 in文化センター	独自事業 【ムーブ】	高齢者を対象に、所蔵DVDの中から、新春にふさわしい明るい内容のDVDを選び、守口文化センター図書室に出張し開催。高齢者の図書室の利用促進と、読書活動の推進を図るため実施。 ①開催日:平成29年2月25日(土) ②開催場所:守口文化センター 図書室 ③実施回数:1回 ④定員:20名 ⑤参加人数35名 ⑥参加率:175.0%	「高齢者の図書館利用促進事業」の一つとして、平成22年以来継続して実施している事業。 守口地区にある文化センターで実施することにより、情報センター(庭窪地区)まで来ることが困難な高齢者に非常に好評を得ている。毎回、高齢者で賑わい、今後も継続していきたい事業である。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業(図書事業)・ムーブ	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府公共図書館 司書研修会参加	大阪公共図書館協会・大阪府立図書館との協力事業【ムーブ】	大阪府公共図書館協会・大阪府立中央図書館が主催する「協力貸出業務研修会」に参加し、リクエスト図書に係る相互貸借業務を円滑に行えるよう受講した。 ①実施日:平成28年5月27日(金) 平成29年3月2日(木) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:2回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:4名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。 図書館業務の一つである、リクエスト業務を円滑に行い、市民に安定したリクエストサービスを提供することができるよう受講した。安定した図書サービスと司書のスキルアップを図るため、今後も受講を継続していきたい。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府公共図書館 司書研修会参加	大阪公共図書館協会・大阪府立図書館との協力事業【ムーブ】	大阪府公共図書館協会・大阪府立中央図書館が主催する「レファレンス・著作権研修会」に参加し、レファレンス業務に係る注意点を学び、実習を受講。また、図書館業務全般に係る著作権について学び、司書が著作権者の権利を守り、市民への資料貸出業務を円滑に行うためのポイント等を履修した。 ①実施日:平成28年6月1日(水)・14日(火)・23日(木) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:3回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:3名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。 図書館業務の一つである、レファレンス業務を円滑に行えるよう、司書のスキルアップを図った。また、図書館業務の内、大きな位置を占める貸出業務に係る著作権について学び、市民に対し円滑な貸出サービスを供し同時に、著作権者の立場を守る事ができるよう履修した。市民に安定した図書サービスを提供できるよう、今後も継続して受講していきたい。
	【図書ネットワーク支援事業】 図書館システムサーバー 処理&情報確認	生涯学習課との協力事業【ムーブ】	毎年1回、情報センターは、休館日に受電設備の法定点検を実施する。これに伴い、情報センターに設置されている守口市所有の「図書サーバー」も一時的に通電が停止される。この停止前に、停電対応処理を実施し、また、通電後の復旧作業を行い、図書情報の整合性が保たれているかをチェックし確認する。 ①実施日:平成28年6月13日(月) ②実施場所:情報センター事務局 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:3名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。 情報センターは、受電設備の法定点検に伴う停電を年1回実施する。これにより、図書館システムのサーバーも停止されるが、停止前・停止後のサーバー処理を確実にし、また、通電後の図書情報確認作業を徹底する。これにより、市民に安定した図書サービスを提供することができる。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府公共図書館 司書研修会参加	大阪公共図書館協会・大阪府立図書館との協力事業【ムーブ】	大阪府公共図書館協会・大阪府立中央図書館が主催する「障がい者サービス実務研修会」に参加。障がいの種別に応じたきめ細かい障がい者サービス業務を速やかに行えるよう受講した。 ①実施日:平成28年7月7日(木) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:1名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。 図書館業務の一つである、障がい者サービス業務を円滑に行い、以て、障がい者の利用のバリアフリー化に貢献できるよう受講した。安定した障がい者サービスが提供できるよう、今後も継続して受講し、スキルアップを図っていきたい。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府公共図書館 司書研修会参加	大阪公共図書館協会・大阪府立図書館との協力事業【ムーブ】	大阪府公共図書館協会・大阪府立中央図書館が主催する「学校図書館との協力研修会」に参加し、学校図書館と公共図書館が連携し、子どもの読書環境を作り出すプログラムを履修した。 ①実施日:平成28年7月27日(水) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:1名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、今期はじめて実施した事業。 情報センターでは、平成10年から継続的に学校図書室との連携を図ってきたが、他市の事例や、取組みなどを学び参考になった。子どもの読書活動推進に寄与するためこれからも機会があれば受講したい。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業(図書事業)・ムーブ	【図書ネットワーク支援事業】 国立民俗学博物館との 合同研修会参加	国立民俗学 博物館 との 共催事業 【ムーブ】	国立民俗学博物館が主催する専門書(民俗学の専門書)の音訳化(国際水準)研修会」に参加し、専門書の音訳カリキュラムを履修した。 ①実施日:平成28年9月7日(水) 平成29年3月8日(水) ②実施場所:国立民族学博物館 ③実施回数:2回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:4名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、今期はじめて実施した事業。 国立民俗学博物館が主催する研修会に参加し、専門書(民俗学の専門書)の音訳化に取り組むカリキュラムを履修した。専門書の音訳は難易度が高く、音訳化は非常に困難である。しかし、少しでも克服できるよう研鑽を積む努力をするつもりである。専門教育を受ける視覚障がい者の生涯学習活動に寄与できるよう、これからも継続して受講していきたい。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府公共図書館 司書研修会参加	大阪公共 図書館協会・ 大阪府立 図書館 との 協力事業 【ムーブ】	大阪府公共図書館協会・大阪府立中央図書館が主催する「初任者司書対象 参考業務研修会」に参加し、参考業務を行う中で、勤務経験が浅い司書が陥りやすい箇所を重点的に学ぶカリキュラムを履修した。 ①実施日:平成29年1月17日(火) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:1名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、今期はじめて実施した事業。 情報センターの司書の中で、一番経験年数が浅く、レファレンス業務担当を初めて勤める司書が履修した。レファレンス業務の注意点を克服し、安定したレファレンスサービスに対応できるよう受講した。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府公共図書館 司書研修会参加	大阪公共 図書館協会・ 大阪府立 図書館 との 協力事業 【ムーブ】	大阪府公共図書館協会・大阪府立中央図書館が主催する「中堅司書対象 参考業務研修会」に参加し、参考業務を行う中で、経験年数を積んだ司書でも特に注意すべき分野・内容などを学び、実習を交えたカリキュラムを履修した。 ①実施日:平成29年3月16日(火) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:4回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:2名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、今期はじめて実施した事業。 情報センターの司書の中で、参考業務の経験年数が比較的長く、レファレンス業務を3年以上経験している司書が履修した。間違いやすい点を中心に、注意するポイントを改めて学び、より安定したレファレンスサービスに対応できるよう受講した。
	【その他の図書館 利用促進事業】 わが町守口何でも情報 ～写真で見る守口の歴史& 新聞記事から知る 守口の文化～	独自事業 【ムーブ】	守口市の歴史と文化を、市民に紹介するため写真と新聞記事のパネル展示及び解説を実施。戦前の市民の暮らしぶり、学校や子ども達の様子、当時の町並みを撮影した写真や、終戦直後の極東米軍が撮影した貴重な航空写真などを展示。また、現代の町並みと昔の町並みの比較展示も実施。同時にこれまで新聞に掲載された「守口市の歴史」関連の記事を展示。 ①開催期間:通年 ②開催場所:図書フロア、 1F展示コーナー・休憩室 ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 写真パネル展示:31点 新聞記事展示:35点	「その他の図書館利用事業」の一つとして、平成26年度から継続に実施した事業。 多数の市民が、この展示をご覧になり、当時の生活の様子や思い出を熱心にスタッフに話された。また、学校の教員の方も多く閲覧され、後日、生徒たちを伴い、図書フロアに来館されたケースも比較的多かった。
	【その他の図書館 利用促進事業】 ムーブ図書フロア・ 文化センター図書室 共同事業 ～児童図書中心に 所蔵資料の相互利用 (保管場所の相互交換) と市民への提供～	独自事業 【ムーブ】	文化センターには、児童図書の所蔵がないところから、守口地区の子どもたちの読書活動推進を図るため、ムーブの児童図書・絵本・紙芝居の中から選書した資料を一時的に文化センターに送り配架し、市民に供した。また、文化センターからは寄贈本を中心に、出版年次の古いものをムーブに送り、出版年次の新しいムーブ所蔵本との比較展示を実施。 ①実施期間:通年 ②実施場所:ムーブ図書フロア 文化センター図書室 ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 相互交換冊数:2,424冊	「その他の図書館利用事業」の一つとして実施した事業。 両センターで、互いの資料の一部を交換し、新たな場所で市民に供することにより、新たな利用者の増加、新たな資料の提供が図られた。また、文化センターは、比較的高齢の利用者が多いが、児童書等の配架により孫世代をつれて来館されたり、また、親子3代での来館する姿が見られるなど、新たな利用が広がった。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業(図書事業)・ムーブ	【その他の図書館利用促進事業】 ちよっと昔の教科書展 大正時代から平成24年まで	独自事業【ムーブ】	教科書収集家の市民から借用し、「大正時代から平成24年度」までの教科書を一挙に展示する展示会を実施。 ①開催期間:平成28年4月1日(金)~6月30日(木) ②開催場所:図書フロア展示コーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 展示冊数:595冊	「その他の図書館利用事業」の一つとして、今期初めて実施した事業。 初めて見る大正時代の教科書の美しい挿絵に驚き、展示教科書に見入っている人が多かった。普段、図書にあまり関心を示さないYA世代が作品を見て感動している様子を見て、手応えを感じた。
	【その他の図書館利用促進事業】 ビジネス支援 ~関連資料展示・貸出 &調査相談~	独自事業【ムーブ】	図書館利用者が少ないと言われる現役ビジネスマン層を対象に、ビジネスに役立つ資料を展示、資料の利用促進を図った。 またビジネス関連の調査相談を実施しビジネスマンの利用促進を図った。 ①開催期間:平成28年4月1日(金)~9月25日(日) ②開催場所:参考資料室・展示コーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:10名(相談受付人数) ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数:356冊 相談件数:10件	「その他の図書館利用事業」の一つとして、26年度から引き続き実施した事業。 ビジネスマンやOLの方が利用しやすいよう、一般図書や児童図書の展示場所から離れた場所に配置し、資料を利用した調べ物ができるように展示方法を工夫した。大阪府立中之島図書館で実施されているビジネス支援関連事業を参考に実施した。これからも充実を図っていきたい事業である。
	【その他の図書館利用促進事業】 七夕まつり ~愛と希望のメッセージ~ 短冊記入&関連資料 展示・貸出	独自事業【ムーブ】	子どもから大人までさまざまな人が楽しむ年中行事である「七夕まつり」を、図書フロアはじめ館内で大規模に実施。図書フロアでは、七夕関連本の展示・貸出、各地の七夕まつりのポスター掲示、「七夕の由来」を掲示し、読書活動の推進を図った。 ①開催期間:平成28年6月21日(火)~7月7日(木) ②開催場所:1F受付横、2F図書フロア、4Fプラネタリウムドーム前 ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:353名(短冊記入者) ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数:95冊	「その他の図書館利用事業」の一つとして、平成10年度以来、継続して実施している事業。 毎年、子どもから大人まで多くの方が参加し、短冊に願い事を記入し飾られている。今年は、本事業に参加するため来館された幼稚園・保育所もあり、熱心に短冊を記入し、笹に飾られていた。関連資料も多数展示したが、全て貸出され、大変盛況であった。
	【その他の図書館利用促進事業】 ちよっと昔の教科書展Part2 明治・大正・昭和初期 平成元年から平成26年まで	独自事業【ムーブ】	4月~6月にかけて開催した「ちよっと昔の教科書展」が好評を博したため、今回は、明治・大正・昭和初期の尋常・高等小学校で使用されていた教科書と平成元年から平成26年までの最新の教科書を一同に比較展示し、違いを明確にした。 ①開催期間:平成28年7月1日(金)~8月31日(水) ②開催場所:エントランスホール 展示コーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 展示冊数:108冊	「その他の図書館利用事業」の一つとして、今期初めて実施した事業。 前回の展示が市民から大好評を博したため、再開催を希望する声が多く、再び、教科書収集家の市民から資料を借用し展示した。ご家族揃って三世代でご覧になっている姿も多く見受けられた。また、高齢者も多くご覧になられ、自分たちが使っていた教科書を懐かしそうに、熱心に見ておられた。古い時代の教科書は、公共図書館で展示するところは殆どないため、NHK、読売新聞社、産経新聞社、大阪日日新聞など、報道機関からの問い合わせが多く、新聞掲載もされた。その為、多くの方がご覧になっていた。
	【その他の図書館利用促進事業】 納涼 DVD落語会	独自事業【ムーブ】	夕涼みがてら、図書フロアでの楽しいひと時を過ごしてもらうため実施。夏休み最初の土・日に館全体でイベント開催する「夏休みファミリーフェスタ」の中の行事として実施。開演前にお囃子やBGMを流して、落語会の雰囲気作りと参加者同士のコミュニケーションの場となるような会場設営に努めた。所蔵資料(DVD)の活用と図書フロアの利用促進を目的として実施。 ①開催日:平成28年7月23日(土) ②開催場所:図書フロアカウンター前 ③実施回数:1回 ④定員:25名 ⑤参加人数:25名 ⑥参加率:100.0%	「その他の図書館利用事業」の一つとして、平成20年度以来、継続して実施している事業。 図書フロアで、市民に古典芸能を楽しんでいただくため実施した。参加者からは、「熱い日の夕涼みをもってこいの事業だ」、「冷やしあめなどの飲みものや駄菓子なども売ってほしい」など楽しい要望が寄せられた。浴衣姿で参加されている若いカップルの姿も見受けられ、また、高齢者がご夫婦で参加されている姿もあり、参加者の年齢層が広い事業であった。休憩時も楽しく、なごやかな雰囲気、参加者同士の会話も弾んでいた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業(図書事業)・ムーブ	【その他の図書館利用促進事業】 たのしいひな祭り ～昔と今のおひなさま展示 &関連資料の展示・貸出～	独自事業 【ムーブ】	子どもから大人までさまざまな人が楽しむ年中行事である「ひなまつり」を図書フロアをはじめエントランスホールで大規模に実施。エントランスホール正面奥、滝の前で、大正・昭和・平成それぞれの時代に製作された雛飾り5セット及び親王飾りなどを展示。また、ひな人形の由来をパネル掲示し、来館者に紹介。同時に、図書フロアではひなまつりに関する関連本の展示・貸出を行い、資料の利用促進を図るため実施。 ①開催期間:平成29年2月24日(金)～3月26日(日) ②開催場所:図書フロア、エントランスホール ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外	「その他の図書館利用事業」の一つとして、平成20年度以来、継続して実施している事業。 住宅事情等で雛人形を段飾りする家庭が減少しており、利用者の皆さんから「毎年楽しみにしている」と切望される事業である。珍しい大正期の御殿雛から平成の段飾り迄5セットを収集し展示した。毎回、市内のみならず他市からの見学者も多く、雛段をバックにご家族揃って記念写真を撮っておられるご家族も多かった。また今年度は「わざわざこの展示期間に合わせてお部屋を借りた」とスタッフに話された貸館利用者もおり、各時代の雛人形の違いや細かい細工の説明をスタッフが行うと、とても熱心に説明を聞かれ「これからも毎年開催してほしい」と熱いリクエストをいただいた。意外にも男性見学者も多く、「初孫ができたので、お人形の前で記念写真を撮りたい」とスタッフに言われる事もあった。若い方はインスタグラムなど各種SNSに投稿されていた。男女問わず、各年齢層から非常に好評を得ている事業である。
	【情報提供事業】 レファレンス事業 生涯学習情報誌の発行	独自事業 【ムーブ】	市民の生涯学習活動に寄与するため、情報誌を発行した。「団体グループ情報」「指導者情報」のほか、「学校教育施設」「社会教育施設」「その他公共施設」等の所在地・電話番号を記載し、より身近な学習情報を提供。 ①配布期間:通年 ②配布場所:図書フロア、文化センター ③発行部数:600部	「情報提供事業」の一つとして、平成18年度以来、継続して実施している事業。 団塊世代の方が特に多く手に取られている。配架した途端、多くの方々が持ち帰られ、すぐになくなってしまったため、昨年度より発行部数を増やした。
	【情報提供事業】 レファレンス事業 生涯学習情報 「指導者情報」 「団体・グループ情報」 の提供	独自事業 【ムーブ】	「何かを学びたい」「こんなサークルはないか」「どこに行けば教えてもらえるか」など、生涯学習について相談を受けた司書が、情報センター独自で収集した「団体グループ情報」「指導者情報」や民間情報を用いて、相談者に情報提供。生涯学習活動の支援を図るため実施。 ①実施期間:通年 ②実施場所:参考資料室、相談室 ③実施回数:30回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:36名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 相談件数:30件	「情報提供事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 65歳以上の団塊世代の方が主な相談者である。「資格取得の相談」が多かったが、学ぶにあたり、補助金対象講座の有無を尋ねられる事が多く、対象講座に特化したレジュメなどを要望された。
	【情報提供事業】 レファレンス事業 調査相談・読書相談 (所蔵調査含む)	独自事業 【ムーブ】	図書フロアの司書業務の一環として、利用者からの読書相談・調査相談・資料の所蔵調査などを受付し回答。市民の読書活動・生涯学習活動の支援を図るため実施。 ①実施期間:通年 ②実施場所:図書カウンター、参考資料室、相談室、その他電話受付可。 ③実施回数:5,625回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:5,625名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦内容 1)さまざまな読書相談 2)調べ学習の支援(調査相談) 3)所蔵調査 (自館分・市内他館分・国立国会図書館・大阪府立図書館・大阪市立図書館・他県立図書館・他市町村立図書館等) 4)関連機関所蔵調査 (大学図書館・国立民族学博物館・大阪児童文学館等)	「情報提供事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 昨年度からインターネット環境になったため、他市の公共図書館はじめ大学図書館、専門図書館、各家庭、個人からネットの資料検索・予約ができるようになり、昨年度は大幅に所蔵調査件数が減少したが、今年度に入り、逆に、相談件数が増えV字回復した。

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムープ21図書フロア対象	項目	協定事項等	分析																																								
	評価の方法	<p>(加重平均値の算出例)</p> <p>加重平均とは、平均値を計算する時、各項の数値にその重要度に比例した係数を掛け、各項に重みをつけてから平均すること。(重みつき平均)</p> <table border="1" data-bbox="448 577 1054 840"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>回答(A)</th> <th>係数(B)</th> <th>点数(A×B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても満足</td> <td>10名</td> <td>5</td> <td>50点</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>20名</td> <td>4</td> <td>80点</td> </tr> <tr> <td>ふつう</td> <td>30名</td> <td>3</td> <td>90点</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>20名</td> <td>2</td> <td>40点</td> </tr> <tr> <td>とても不満</td> <td>10名</td> <td>1</td> <td>10点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>90名(C)</td> <td></td> <td>270点(D)</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記の例の加重平均値は「3.0」となる。 (D÷C=3.0)</p>	満足度	回答(A)	係数(B)	点数(A×B)	とても満足	10名	5	50点	満足	20名	4	80点	ふつう	30名	3	90点	不満	20名	2	40点	とても不満	10名	1	10点	計	90名(C)		270点(D)	<p>《利用者満足度の評価》</p> <p>点数化(5点満点)し、点数に応じて7段階(S~F)のランク付けにより評価する。</p> <p>《点数化の方法》</p> <p>① 選択肢の配点 選択肢の重みに応じて点数を付与</p> <table border="1" data-bbox="1094 618 1453 880"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても満足</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>ふつう</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>とても不満</td> <td>1点</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 加重平均値の算出 有効回答者数(無回答除く)に選択肢の配点を乗じて得た得点の合計数を有効回答者数の合計で割ると加重平均値(5点満点)が算出される。</p>	選択肢	配点	とても満足	5点	満足	4点	ふつう	3点	不満	2点	とても不満	1点
満足度	回答(A)	係数(B)	点数(A×B)																																								
とても満足	10名	5	50点																																								
満足	20名	4	80点																																								
ふつう	30名	3	90点																																								
不満	20名	2	40点																																								
とても不満	10名	1	10点																																								
計	90名(C)		270点(D)																																								
選択肢	配点																																										
とても満足	5点																																										
満足	4点																																										
ふつう	3点																																										
不満	2点																																										
とても不満	1点																																										
	実施方法・回答者数	<p>平成28年度においては、図書フロアにおいて2回実施した。ここでは、最新の2回目のアンケート結果を掲載し、1回目については、前回分として掲載した。</p> <p>○調査期間 1回目 平成28年8月9日(火)~11日(水) 2回目 平成29年3月17日(金)~19日(日)</p> <p>○実施方法 図書フロア利用者に配布し回収箱にて回収</p> <p>○回答者数 1回目 50名 2回目 100名</p> <p>○調査項目 設問は「満足度に関するもの」が8問、「満足度以外に関するもの」が8問で、16問設定</p>	<p>《7段階のランク付けによる評価》</p> <p>加重平均値に応じて、7段階のランク付けを行い、満足度を評価する。</p> <table border="1" data-bbox="1094 1272 1453 1883"> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>極めて高いレベル 加重平均値4.5点以上</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>高いレベル 4点以上4.5点未満</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>やや高いレベル 3.5点以上4点未満</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>通常のレベル 2.75点以上3.5点未満</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>低いレベル 2点以上2.75点未満</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>不満足レベル 1.5点以上2点未満</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>緊急に改善を要するレベル 1.5点未満</td> </tr> </tbody> </table>	S	極めて高いレベル 加重平均値4.5点以上	A	高いレベル 4点以上4.5点未満	B	やや高いレベル 3.5点以上4点未満	C	通常のレベル 2.75点以上3.5点未満	D	低いレベル 2点以上2.75点未満	E	不満足レベル 1.5点以上2点未満	F	緊急に改善を要するレベル 1.5点未満																										
S	極めて高いレベル 加重平均値4.5点以上																																										
A	高いレベル 4点以上4.5点未満																																										
B	やや高いレベル 3.5点以上4点未満																																										
C	通常のレベル 2.75点以上3.5点未満																																										
D	低いレベル 2点以上2.75点未満																																										
E	不満足レベル 1.5点以上2点未満																																										
F	緊急に改善を要するレベル 1.5点未満																																										

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムープ21図書フロア対象	項目	協定事項等	分析
利用者アンケート調査の結果・ムープ21図書フロア対象	施設・整備の充実度	【()内数値は前回分】	【評価】 平均値は4.14点で、前回と同様「A(高い満足度レベル)」ランクで高い評価が得られた。前回と比較して0.09ポイントの増となっている。 「とても満足」と「満足」を合算すると8割強の人が満足と回答し、前回は8割弱の人が満足と回答 施設の清潔度と備品の満足度の2問設定し、数値は2問の合算
		とても満足 67名 33.5% (27.0%)	
		満足 96名 48.0% (51.0%)	
		ふつう 34名 17.0% (22.0%)	
		不満 3名 1.5% (0%)	
		とても不満 0名 0% (0%)	
		計 200名 【無回答;0】	
		加重平均 4.14点 (4.05点)	
		ランク A (A)	
		≪構成比率の合計は、四捨五入の関係で100%にならない場合がある≫	
	施設の利用のしやすさ	【()内数値は前回分】	【評価】 平均値は3.94点で、前回と同様「B(やや高い満足度レベル)」ランクでBの上位である。前回と比較して0.05ポイントの増となっている。 「とても満足」と「満足」を合算すると7割強の人が満足と回答し、前回は7割の人が満足と回答 書架の案内表示と施設利用の満足度の2問設定し、数値は2問の合算
		とても満足 45名 22.5% (18.6%)	
		満足 101名 50.5% (51.5%)	
		ふつう 51名 25.5% (29.9%)	
		不満 3名 1.5% (0%)	
		とても不満 0名 0% (0%)	
		計 200名 【無回答;0】	
		加重平均 3.94点 (3.89点)	
		ランク B (B)	
	職員の対応・態度	【()内数値は前回分】	【評価】 平均値は、前回と同じ4.38点で、「A(高い満足度レベル)」ランクで高い評価が得られた。最上位のSランクまで0.12ポイントに迫っている。要因としては、スタッフ全員が司書有資格者であるため、読書相談等に迅速かつ的確に対応できた結果と推察される。 「とても満足」と「満足」を合算すると9割強の人が満足と回答し、前回は95.8%の人が満足と回答
		とても満足 46名 46.0% (41.7%)	
		満足 46名 46.0% (54.2%)	
		ふつう 8名 8.0% (4.2%)	
		不満 0名 0% (0%)	
		とても不満 0名 0% (0%)	
		計 100名 【無回答;0】	
		加重平均 4.38点 (4.38点)	
		ランク A (A)	

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムーブ21図書フロア対象	項目	協定事項等	分析																								
	利用時間	<p>【()内数値は前回分】</p> <table border="0"> <tr> <td>とても満足</td> <td>64名</td> <td>21.5%</td> <td>(22.4%)</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>148名</td> <td>49.7%</td> <td>(48.3%)</td> </tr> <tr> <td>ふつう</td> <td>52名</td> <td>17.4%</td> <td>(17.5%)</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>30名</td> <td>10.1%</td> <td>(9.8%)</td> </tr> <tr> <td>とても不満</td> <td>4名</td> <td>1.3%</td> <td>(2.1%)</td> </tr> </table>	とても満足	64名	21.5%	(22.4%)	満足	148名	49.7%	(48.3%)	ふつう	52名	17.4%	(17.5%)	不満	30名	10.1%	(9.8%)	とても不満	4名	1.3%	(2.1%)	<p>【評価】</p> <p>平均値は3.80点で、前回と同様「B(やや高い満足度レベル)」ランクであり、前回と比較して0.01ポイントの微増となっている。</p> <p>「とても満足」と「満足」を合算すると7割強の人が満足と回答し、前回は7割の人が満足と回答</p> <p>反面「とても不満」と「不満」を合算すると、前回と同様に1割強の人が不満と回答。特に「土・日・祝の開館時間」は、23%(前回は27.1%)の人が不満と回答し、開館時間の延長を求める声が4人に1人となっている。</p> <p>休館日、平日の開館時間及び土・日・祝日の開館時間の満足度の3問設定し、数値は3問の合算</p>				
とても満足		64名	21.5%	(22.4%)																							
満足	148名	49.7%	(48.3%)																								
ふつう	52名	17.4%	(17.5%)																								
不満	30名	10.1%	(9.8%)																								
とても不満	4名	1.3%	(2.1%)																								
	<table border="0"> <tr> <td>計</td> <td>298名</td> <td colspan="2">【無回答;2】</td> </tr> <tr> <td>加重平均</td> <td>3.80点</td> <td colspan="2">(3.79点)</td> </tr> <tr> <td>ランク</td> <td>B</td> <td colspan="2">(B)</td> </tr> </table>	計	298名	【無回答;2】		加重平均	3.80点	(3.79点)		ランク	B	(B)															
計	298名	【無回答;2】																									
加重平均	3.80点	(3.79点)																									
ランク	B	(B)																									
	総合評価	<p>【()内数値は前回分】</p> <p>調査項目別加重平均とランク</p> <table border="0"> <tr> <td>施設・設備の充実度</td> <td>4.14点</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(4.05点)</td> <td>(A)</td> </tr> <tr> <td>施設の利用のし易さ</td> <td>3.94点</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3.89点)</td> <td>(B)</td> </tr> <tr> <td>職員の対応・態度</td> <td>4.38点</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(4.38点)</td> <td>(A)</td> </tr> <tr> <td>利用時間</td> <td>3.80点</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3.79点)</td> <td>(B)</td> </tr> </table>	施設・設備の充実度	4.14点	A		(4.05点)	(A)	施設の利用のし易さ	3.94点	B		(3.89点)	(B)	職員の対応・態度	4.38点	A		(4.38点)	(A)	利用時間	3.80点	B		(3.79点)	(B)	<p>【評価】</p> <p>各調査項目を合算した全体の平均値は、前回より0.05ポイント増えて4.0点である。ランクは前回の「B」ランクから「A」ランクにアップして、高い評価を得ることができた。</p> <p>各調査項目のランクは、4項目とも前回と同じランクであり、「A」ランクが2項目、「B」ランクが2項目であった。</p> <p>4項目のうち、平均値が最も高かったのが「職員の対応・態度」であり、前回と同じ4.38点であった。逆に最も低かったのは「利用時間」であった。</p>
施設・設備の充実度		4.14点	A																								
		(4.05点)	(A)																								
施設の利用のし易さ		3.94点	B																								
	(3.89点)	(B)																									
職員の対応・態度	4.38点	A																									
	(4.38点)	(A)																									
利用時間	3.80点	B																									
	(3.79点)	(B)																									
	<table border="0"> <tr> <td>全体平均</td> <td>4.00点</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3.95点)</td> <td>(B)</td> </tr> </table>	全体平均	4.00点	A		(3.95点)	(B)																				
全体平均	4.00点	A																									
	(3.95点)	(B)																									

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

	項目	協定事項等	分析
利用者アンケート調査の結果・ムーブ21図書フロア対象	その他 (満足度以外のアンケート結果)	【()内数値は前回分】	6対4の割合で女性が多く、前回は、概ね男女同数であった。
		○ 性別 男性 39名 39.0% (48.0%) 女性 61名 61.0% (52.0%) 無回答 0名 0% (0%)	
		計 100名	「40歳代」が最も多く、次いで「60歳代・70歳以上」、「30歳代」と続き、最も少ないのは「20歳代」である。前回は「40歳代・60歳代」、「70歳以上」と続き、最も少ないのは、今回と同様に「20歳代」であった。
		○ 年齢層 10歳代 8名 8.0% (10.0%) 20歳代 5名 5.0% (4.0%) 30歳代 16名 16.0% (12.0%) 40歳代 25名 25.0% (22.0%) 50歳代 12名 12.0% (10.0%) 60歳代 17名 17.0% (22.0%) 70歳以上 17名 17.0% (20.0%) 無回答 0名 0% (0%)	
		計 100名	
		○ 住居 守口市 87名 87.0% (92.0%) その他 8名 8.0% (6.0%) 無回答 5名 5.0% (2.0%)	守口市が概ね9割を占め、前回は9割強であった。
計 100名	「2週間に1回」が最も多く、半数を占め、貸出期間に合わせての来館と推察される。次いで「1週間に1回」であり、2週間以内の来館は72%である。前回は2週間以内の来館が62%であった。		
○ 利用頻度 初めて 7名 7.0% (4.0%) ほぼ毎日 2名 2.0% (4.0%) 1週間に2回以上 2名 2.0% (8.0%) 1週間1回 18名 18.0% (16.0%) 2週間に1回 50名 50.0% (34.0%) 3週間に1回 6名 6.0% (2.0%) 月に1回 5名 5.0% (10.0%) 年に数回 6名 6.0% (20.0%) ほとんど利用しない 4名 4.0% (2.0%) 無回答 0名 0% (0%)			
計 100名			

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

項目	協定事項等	分析
利用者アンケート調査の結果・ムープ21図書フロア対象	○ 利用目的 資料の貸出・返却 46名 29.5% (22.0%) 読みたい本を探す 81名 51.9% (48.8%) 新聞や雑誌を読む 6名 3.8% (9.8%) 閲覧室の利用 4名 2.6% (1.2%) 調べもの 9名 5.8% (9.8%) ボランティア事業に参加 1名 0.6% (0%) 館内のイベントに参加 6名 3.8% (2.4%) 視聴覚コーナーを利用 1名 0.6% (1.2%) その他 2名 1.3% (3.7%) 無回答 0名 0% (1.2%)	「読みたい本を探すため」が最も多く5割を占め、次いで「資料の貸出・返却のため」が3割である。前回も「読みたい本を探すため」が5割を占めており、「資料の貸出・返却のため」は2割であった。
	計 100名 ○ もりぐち図書情報ステーション ① 周知度 知っている 40名 40.0% (32.0%) 知らない 60名 60.0% (60.0%) 無回答 0名 0% (8.0%)	図書情報ステーションの認知度は、「知らないが」が6割、「知っている」が4割で低い状況にある。前回も同様に6割の人が「知らない」と回答していた。
	その他 (満足度以外のアンケート結果) ②「知っている」と回答した人の利用の有無 利用している 15名 37.5% (50.0%) 利用していない 25名 62.5% (50.0%) 無回答 0名 0% (0%)	図書情報ステーションの利用度は、「知っている」と回答した人のうち、6割強の人が「利用していない」と回答し、前回も5割の人が「利用していない」と回答していた。利用促進のためのPR活動の徹底が必要不可欠である。
	計 40名	

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

	主な意見・要望等	対応状況等(上記アンケートによる対応)
市民からの意見・要望等(ムーブ・図書フロア)	土・日・祝の開室時間を延長してほしい。	開室時間については、条例により定められている。平日は、夜8時まで開室しているので、活用していただきたい。
	学校の代休が月曜日に多いので、あけてほしい。	日曜日と祝日が重なる休日の月曜日は、開館しているのでご利用いただきたい。
	人気のある本は予約が多く、なかなか借りれない	人気本は、相当期間お待ちいただいているのが現状であり、対応策として複本購入等も行っており、ご理解いただきたい。
	書籍検索のパソコンを増やしてほしい。	図書フロアの書籍検索用パソコンはじめ市内の各図書施設のパソコン(図書館システム)については、守口市が契約を行っており、指定管理者の判断で増設することができないので、市に意見を報告する。
	自習室を設けてほしい。	館内の部屋は、貸室仕様になっているため、無料で使用できる部屋をこれ以上増やせないで、ご理解いただきたい。 図書フロアの所蔵資料を利用した閲覧室をご利用いただきたい。
	その他 (アンケートで記載されたもの)	○他の市にあるもっと大きな図書館にも負けないぐらい読みたい本があり、とてもありがたいです。 ○守口市に引越してきたばかりなので、わからないことだらけでしたがスタッフの方がとても親切で安心しました。 ○子どもの読みきかせ午前中にもあればいいなと思います。昼寝の時間とかぶるため。 ○子ども用のマットコーナーがとてもありがたい。 ○図書フロアのイベントに子供と一緒にいつも参加しています。 ○リラクセスできるソファを設置してほしい。 ○これからも図書ステーションを利用します。ネット予約や検索がとても便利なので。 ○リクエストも「もりぐち図書情報ステーション」でできれば有難いです。

利用者満足度評価 コメント

利用者満足度の評価にあたっては、今回より評価の精度を高めるため、数値化(5点満点)し、7段階のランク付けによる評価を採用した。図書フロアにおける調査項目全体の平均値は、前回より0.05ポイント上昇し、「Bランク(やや高いレベル)」から「Aランク(高いレベル)」にアップし、高い評価が得られた。

また、アンケート各設問での回答数は798人であり、そのうち満足(とても満足・満足)と答えた人は、613人(76.8%)で、8割近くの人が満足と回答している。逆に不満(不満・とても不満)と答えた人は、40人(5%)であり、大半は「利用時間」に集中している。特徴的なことは、「職員の対応・態度」が、前回と同様に不満と答えた人が皆無であった点である。

特に今回からアンケートの精度を高めるため、前回より回答者数を増やすとともに、利用者の性別・年齢層・利用目的など、満足度以外のアンケート項目も掲載した。

市民からの意見・要望については、改善できるものは、速やかに対処し、副えない場合や予算を伴うものについては、その理由を明記して、理解していただくよう努めていく。なお、アンケート結果の詳細については、速やかにホームページに掲載し広く市民に報告した。

今後も市と連携しながら、満足度の高い図書サービス水準を維持するよう努めたい。

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

	項目	協定事項等	分析																																
利用者アンケート調査の結果・ムーブ21施設利用対象	実施方法・回答者数	○調査期間 平成28年4月1日(金)～29年3月31日(金) (前回調査は、平成27年度に実施) ○実施方法 アンケート用紙・回収箱を館内に配置し、施設利用者に随時記入を呼びかけている。 ○回答者数 35名																																	
	施設・整備の充実度	<p style="text-align: center;">【()内数値は前回分】</p> <table border="0"> <tr> <td>とても満足</td> <td>3名</td> <td>10.3%</td> <td>(16.7%)</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>4名</td> <td>13.8%</td> <td>(16.7%)</td> </tr> <tr> <td>ふつう</td> <td>18名</td> <td>62.1%</td> <td>(50.0%)</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>4名</td> <td>13.8%</td> <td>(16.7%)</td> </tr> <tr> <td>とても不満</td> <td>0名</td> <td>0%</td> <td>(0%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29名</td> <td colspan="2">【無回答:6件】</td> </tr> <tr> <td>加重平均</td> <td>3.21点</td> <td colspan="2">(3.33点)</td> </tr> <tr> <td>ランク</td> <td>C</td> <td colspan="2">(C)</td> </tr> </table>	とても満足	3名	10.3%	(16.7%)	満足	4名	13.8%	(16.7%)	ふつう	18名	62.1%	(50.0%)	不満	4名	13.8%	(16.7%)	とても不満	0名	0%	(0%)	計	29名	【無回答:6件】		加重平均	3.21点	(3.33点)		ランク	C	(C)		<p>【評価】</p> 開館以来20年以上経過しているが、前回同様「C:通常のレベル」を維持。 洋式トイレ増設を求める意見複数有。
	とても満足	3名	10.3%	(16.7%)																															
満足	4名	13.8%	(16.7%)																																
ふつう	18名	62.1%	(50.0%)																																
不満	4名	13.8%	(16.7%)																																
とても不満	0名	0%	(0%)																																
計	29名	【無回答:6件】																																	
加重平均	3.21点	(3.33点)																																	
ランク	C	(C)																																	
施設の利用のしやすさ	<p style="text-align: center;">【()内数値は前回分】</p> <table border="0"> <tr> <td>とても満足</td> <td>27名</td> <td>31.0%</td> <td>(37.5%)</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>11名</td> <td>12.6%</td> <td>(25.0%)</td> </tr> <tr> <td>ふつう</td> <td>42名</td> <td>48.3%</td> <td>(25.0%)</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>6名</td> <td>6.9%</td> <td>(12.5%)</td> </tr> <tr> <td>とても不満</td> <td>1名</td> <td>1.1%</td> <td>(0%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>87名</td> <td colspan="2">【無回答:18件】</td> </tr> <tr> <td>加重平均</td> <td>3.66点</td> <td colspan="2">(3.88点)</td> </tr> <tr> <td>ランク</td> <td>B</td> <td colspan="2">(B)</td> </tr> </table>	とても満足	27名	31.0%	(37.5%)	満足	11名	12.6%	(25.0%)	ふつう	42名	48.3%	(25.0%)	不満	6名	6.9%	(12.5%)	とても不満	1名	1.1%	(0%)	計	87名	【無回答:18件】		加重平均	3.66点	(3.88点)		ランク	B	(B)		<p>【評価】</p> 前回同様「B:やや高いレベル」を維持。 今後も評価を維持できるよう努める。 利用のしやすさ、費用、清潔度について3問設定し、数値は3問の合算	
とても満足	27名	31.0%	(37.5%)																																
満足	11名	12.6%	(25.0%)																																
ふつう	42名	48.3%	(25.0%)																																
不満	6名	6.9%	(12.5%)																																
とても不満	1名	1.1%	(0%)																																
計	87名	【無回答:18件】																																	
加重平均	3.66点	(3.88点)																																	
ランク	B	(B)																																	

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムーブ21施設利用対象	項目	協定事項等		分析	
	職員の対応・態度	【()内数値は前回分】			【評価】 前回Bより「A:高いレベル」に上昇。 今後もこの高い満足度を維持できる よう研修等を行い評価を維持できる よう努める。
		とても満足	14名	46.7% (33.3%)	
		満足	2名	6.7% (33.3%)	
	ふつう	14名	46.7% (16.7%)		
	不満	0名	0.0% (16.7%)		
	とても不満	0名	0.0% (0%)		
	計	30名	【無回答:5件】		
	加重平均	4.00点	(3.83点)		
	ランク	A	(B)		
利用時間	【()内数値は前回分】			【評価】 前回Sより「B:やや高いレベル」に 変更 再びS:極めて高いレベルを回復出 来るよう方法論の研究と日々の サービス向上に努める。	
	とても満足	14名	41.2% (50.0%)		
	満足	5名	14.7% (50.0%)		
	ふつう	14名	41.2% (0%)		
	不満	0名	0.0% (0%)		
	とても不満	1名	2.9% (0%)		
	計	34名	【無回答:1件】		
	加重平均	3.91点	(4.50点)		
	ランク	B	(S)		
総合評価	【()内数値は前回分】			【評価】 概ね前回同様高いレベルの評価を いただき、全体平均も前回同様 「B:やや高いレベル」の評価。 今後も日々の接遇向上に努め、 利用満足度の向上に努めたい。	
	調査項目別加重平均とランク				
	施設・設備の充実度	3.21点	C		
		(3.33点)	(C)		
	施設の利用のし易さ	3.66点	B		
		(3.88点)	(B)		
職員の対応・態度	4.00点	A			
	(3.83点)	(B)			
利用時間	3.91点	B			
	(4.50点)	(S)			
	全体平均	3.69点	B		
		(3.77点)	(B)		

	主な意見・要望等	対応状況等(上記アンケートによる対応)
市民からの意見・要望等(ムーブ)	館内の清潔が保たれている	今後もこの高評価を維持できるよう業務に努める
	(イベントホールの)音の響きがちょうど良い	守口市と協議しながら良好な設備環境を維持出来るよう運営に努める
	洋式トイレを増やして欲しい	守口市と協議しながら実現の可能性を模索したい
	搬入経路(車両)がもう少し広ければ良い	施設の基本仕様に関する事で現状での対応は困難であるが一つの意見として承る
	控室(グリーンルーム)の空調音がうるさい	改修経費は高額が見込まれること、現在動作中の機材であることから守口市と協議しながら今後の取扱を模索したい
	月曜日も開館していると良い	今回の指定管理者の仕様に関する事で現状での対応は困難であるが一つの意見として承る。対応の可能性については検討する。
	利用者満足度評価 コメント	
<p>概ね前回同様高い評価を得た。今後もこの高評価を維持出来るように日々の業務に精進していきたい。</p> <p>清掃業務について、各項目の回答並びに個別の意見でも評価いただいたことは、日々の清掃業務への緻密な取り組みの結果である。</p> <p>館の清潔度の維持については、利用満足度の全ての項目に大きく影響するとともに、全ての業務遂行水準の分かりやすい指標となり得るため、今後も清掃業務を含めた全ての業務にこれまで以上に取り組んでいきたい。</p> <p>アンケートの回収数については、引続きより多くの数を得られるようアンケートの実施に努めたい。</p>		

2 施設のサービス水準
 (4) 守口市生涯学習情報センターの収支状況の分析・評価

【収入の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	実績－予算	備考
委託料		128,072,800	128,072,800	0	
利用料金等	施設利用料	18,500,000	11,219,958	-7,280,042	
	雑入	100,000	222,078	122,078	
収入合計		146,672,800	139,514,836	-7,157,964	

【支出の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	予算－実績	備考
人件費	給与費	25,833,000	23,938,418	1,894,582	
	福利厚生費	1,055,000	1,010,899	44,101	
	法定福利費	6,829,000	6,243,651	585,349	
	賃金等	18,420,000	14,869,952	3,550,048	
事務費	印刷費	315,000	310,354	4,646	
	通信費	1,400,000	1,309,386	90,614	
	保険料	148,000	144,330	3,670	
	事務用品費	4,600,000	3,745,119	854,881	消耗品費
	旅費交通費	60,000	25,687	34,313	
	賃借料	1,292,000	1,085,298	206,702	諸使用料
管理費	業務委託費	45,367,000	41,617,306	3,749,694	諸委託料
	光熱水費	19,470,800	13,974,853	5,495,947	
	修繕費	3,500,000	3,501,559	-1,559	
	燃料費	0	0	0	
物件費	備品購入費	13,550,000	13,499,903	50,097	消耗什器備品費
事業費	事業費				
	賞与引当金繰入額		958,000	-958,000	人件費
	通勤手当	1,530,000	1,189,080	340,920	人件費
	諸謝金	360,000	302,000	58,000	
	負担金	53,000	52,000	1,000	
	法人税等	40,000		40,000	経常外費用
	手数料等	150,000	162,409	-12,409	
	渉外費	0	12,883	-12,883	
	雑費	0	1,100	-1,100	
公租公課	租税公課	2,700,000	4,125,400	-1,425,400	法人税を含む
支出合計		146,672,800	132,079,587	14,593,213	

収支(実績ベース)

139,514,836 — 132,079,587 = 7,435,249

収支状況 コメント

今年度は、若干の減収となったが経費の縮減効果が見られたため、約743万5千円の黒字となった。今後も引き続き施設の活性化を図るべく、施設利用の一層の促進と業務の効率化を行い、より効果的で適正な施設運営に努めたい。